

ビジネス日本語研究会
就労分野の日本語教育の現状・課題・展望

AJALTの就労分野日本語教育

2025年6月7日

公益社団法人国際日本語普及協会 (AJALT)

日本語授業部 青木 忍



1

本日の発表内容

- AJALTについて
- 認定2課程について
 - Japanese for Busy People クラス
 - 外交官プログラム
- AJALTの考える就労分野の日本語教育
- 機関誌『AJALT』48号特集のご紹介
- 今後の課題

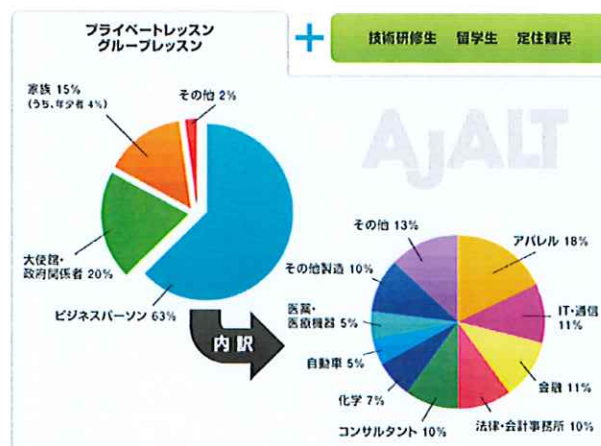
2

AJALTについて

- 1977年 社団法人設立
- 2010年 公益社団法人に移行
- 2025年 認定日本語教育機関（就労分野）
2つの教育課程が認定
- 約190名の日本語教師が普通会員として所属、うち約130名が活動中
- 学習者第一主義にたち、個別ニーズに応じた最適な教育を実践

3

AJALTの学習者



4

AJALTの著作教材



Japanese for Busy People シリーズ



JAPANESE FOR PROFESSIONALS



PRACTICAL KANJI シリーズ



1日10分のシャドーイング
就活・仕事のにほんご会話

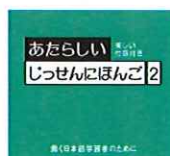
5

AJALTの著作教材

あたらしいじっせんにほんごシリーズ



技能実習編



働く日本語学習者のために



楽しい活動集

6

文科省による認定について

- 2つの教育課程を申請
2025年3月31日認定
- 行動中心アプローチ、ニーズに基づく
授業設計
⇒「日本語教育の参照枠」の考え方との
親和性

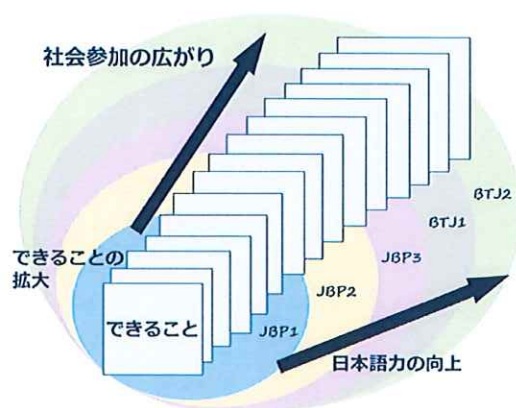
7

Japanese for Busy Peopleクラス

- 週2回各2時間、A1~B1.2、合計450時間
- 「忙しい社会人」が仕事をしながら効率的に
- A1/A2レベル(JBP 1, 2, 3)
 - 学習者が本当に話したいこと
 - 教室内外の往還を意識
- B1レベル (Biz Tasks in Japanese 1, 2)
 - タスクベースの学習
 - 実践的なビジネスコミュニケーション力育成

8

Japanese for Busy Peopleクラス



9

外交官プログラム

外交官の業務

- 社交（日本人と良い関係を築く）
- 情報収集
- 自国の事情や政策の説明
- 議論、意見交換、交渉

⇒ これらを日本語で
遂行できることが
到達目標

- 1660時間で、A1から複雑な専門業務が
遂行できるC1へ

10

外交官プログラムの特徴

- ・数名の教師によるチームティーチング
- ・高度な情報収集力をつける
- ・タスクを通じて総合力を磨く

11

AJALTの考える 就労分野の日本語教育

- ・「就労」分野の特徴
- ・「指導」より「支援」
- ・効率性と柔軟性が必要
- ・タスクベース／課題遂行型の学習
- ・職場との連携の必要性

12

機関誌『AJALT』 第48号

特集

「就労分野の日本語教育」を
デザインする

- ・ 現状・理論・実践編の3部構成
- ・ 制度、経済界の専門家の視点
- ・ 企業の先進的な取り組み事例
- ・ 「課題遂行型」授業の深掘り

6月10日発刊

当協会HP、Amazon、凡人社、主要書店
にて販売



機関誌『AJALT』第48号 6月10日発刊

特集 「就労分野の日本語教育」を デザインする

現状編

外国人材の雇用にかかわる人々
日本で外国人が働くための在留資格
グローバル社会の雇用を支える法律家 杉田昌平弁護士に聞く
外国人材の受け入れと日本語教育の現状

理論編

第二言語習得研究の知見を生かすタスクベースの言語指導 ◎小柳かおる
就労分野の日本語教育と評価
課題遂行型授業への挑戦：「指導」から「支援」へ ◎近藤彩

実践編

企業のデザインする日本語教育
AJALTの取り組みからの提案
課題遂行型のタスクによるカリキュラムデザイン ◎品田潤子
AJALTの「就労分野」カリキュラム
Japanese for Busy People クラスと外交官プログラム

おわりに

- ・課程認定はゴールではなくスタート
⇒授業の質の保証、PDCAサイクルの整備、
評価基準の可視化
- ・今後の課題

15

ご清聴ありがとうございました。

16